

あすなる夢建築 大阪府公共建築設計コンクール

『水とみどりの調和』

～大阪府営蜻蛉池公園内
（仮称）長池北駐車場に隣接するトイレ～

主 催
大 阪 府 (社)大阪府建築士会 大阪府住宅供給公社

後 援
大阪府教育委員会 (社)大阪府専修学校各種学校連合会

協 賛

| | |
|---------------------|-----------------|
| (社)日本建築協会 | (社)大阪府建築士事務所協会 |
| (社)日本建築家協会近畿支部 | (財)大阪建築防災センター |
| (財)日本建築総合試験所 | (社)公共建築協会 |
| (社)大阪建築設備設計事務所協会 | (社)日本建築積算協会関西支部 |
| (財)建築技術教育普及センター近畿支部 | |

コンクール概要

審査講評

このコンクールは、小規模な公共建築物を題材とした実践教育の場を提供することで、将来の建築技術者の育成を図るとともに、永く府民に愛され親しまれる公共建築づくりの推進を目的として、府内の高校生や専修学校生等からアイデアを公募し、最優秀作品賞に選定された作品の提案趣旨を活かして事業化を行うものです。

【テーマ】
「水とみどりの調和」
～大阪府営蜻蛉池公園内（仮称）長池北駐車場に隣接するトイレ～

【主な設計条件】
所在地：大阪府岸和田市山直中町 蜻蛉池公園内
計画地面積：約530㎡（トイレ計画地）
延べ面積：70㎡以内
構造・規模：鉄筋コンクリート造 平屋建て
（屋根部分は鉄骨造でも可とする。）

【作品受付期間】
平成24年1月10日（火）～ 1月13日（金）

【応募状況】
応募校数：16校
応募作品数：177点（うち 第1部58点、第2部119点）
応募者数：186人（うち 第1部58人、第2部128人）

【応募資格】
大阪府内に所在する学校のうち、学校教育法の規定による工業高等学校（工科高等学校）・短期大学・工業高等専門学校・専修学校・各種学校、高等職業技術専門校の建築関連学科に在籍する学生・生徒であり、個人または3名以下のグループ。

【募集区分】
第1部：工業高等学校（工科高等学校）等に在籍する生徒
第2部：短期大学・工業高等専門学校・専修学校・各種学校・高等職業技術専門校に在籍する学生

【入賞作品と賞】
最優秀作品賞：1点 優秀作品賞：3点 佳作：3点 奨励賞：2点
入賞作品は、上記のとおり合計9点を選出し、それぞれの入賞者に賞状を授与。ただし、第1部と第2部からそれぞれ2点以上の入賞作品を選出するものとした。

【表彰式及びプレゼンテーション】
日時：平成24年3月27日（火）午後1時～
場所：咲洲庁舎 23階 中会議室

【入賞作品の展示】
期間/場所：平成24年3月30日（金）～ 7月6日（金）
池田・府市合同庁舎（展示ロビー）ほか6箇所において大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）等と合同で実施。



審査委員

【審査委員長】
大坪 明
（武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科教授）

【審査委員】
加我 宏之
（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授）

末包 伸吾
（関西大学環境都市工学部建築学科教授）

井上 久実
（井上久実設計室代表）

漆畑 良隆
（大阪府都市整備部公園課長）

田中 聡
（大阪府岸和田土木事務所都市みどり課長）

南 正晴
（大阪府住宅まちづくり部公共建築室長）

総評

審査委員長 大坪 明

今回のあすなろ夢建築は、昨年より応募が少なかったのが残念だが、それでも180点近い応募があり、本コンクールが建築を目指す高校生や専門学校生の皆さんの間に浸透してきていることは事実である。

今回も応募要領では、維持管理の容易さや使い勝手の良さを大きな評価ポイントとすることが明確に提示された。デザインには、今まで無かった新しい形態や、新しい使い勝手等も含めて新たな価値観を提示する役割も持つことは確かである。しかし、「公園の中の便所」という一般大衆が使う施設の実現を前提とした設計コンクールであり、アイデアだけを問うものではない。その上、実現されたものが利用する人を満足させ、維持管理をするのに特段の労力や費用を要さないという条件なのである。つまりは、アイデアあふれるデザインとともに利用勝手と維持管理のことを十分に読み込んだ、「練れた」設計が求められている。

このようなことをしっかり踏まえた上で建築形態にまとめ、しかも当該建築単体の内部の使い勝手だけではなく、周囲とどのように呼応するかということも併せて考えられている必要がある。今回は、公園の中という立地であり、しかも駐車場と公園を繋ぐ位置に建つので、この、周辺といかに呼応するかということについて多くの応募者が腐心してくれた。しかし、一部にはそれが抜け落ちて、単体の形態とプランを作り上げることに集中しているような案も見受けられたのは残念であった。建築は、そこに置かれることによって「場」をつくるのだということを理解して欲しい。

今回応募された作品を見ると、面積要件の捉え方にばらつきがあった。応募要領上での定義が不明確で、応募された皆さんにご迷惑をおかけした点に関しては、お詫びをすると共に反省点として今後はこの様なことが無いように注意をしたい。

田中一宣作品（最優秀作品賞）
単なるトイレの機能だけでなく、周囲の庇がつくる中間領域により、雨宿りや休憩のための機能を持たせ、それをデザインの要素にしたことに多くの評価が寄せられた。しかし、便房前の屋内植栽の維持困難性、敷地のレベル差との整合性、トプライトからの熱取得の防御、通風による臭気の除去、外壁際での庇雨水の落下等の細部に関し、実施に向けた改善が求められる。

村田豊隆作品（優秀作品賞）
各棟の機能に応じてボリュームを変化させ、北東から南西に至る動線に素直に順応した分棟配置は明快で、軽やかさとリズムカルな印象を与えてくれる提案である。多面体の屋根形状は、周りの緑の風景の中に溶け込みながらもランドマークとしての機能を発揮している。しかし、コストと耐久性の面での課題も見受けられる。

徳原俊樹作品（優秀作品賞）
敷地の特性を読み込んだシンプルな円弧を描く全体ボリュームのファサードガラスとサッシュのデザインが、トンボの羽根の文様を想起させるもので、その明晰なアイデアが、蜻蛉池という今回の計画敷地に適応するものとなっている。さらにコンパクトなプランを提案し、背面や側面の壁のデザインに更なる配慮があればより説得力ある提案となったであろう。

山田善紀作品（優秀作品賞）
コートハウスの壁で囲まれたスペースに、中庭→トイレ→中庭→トイレ→中庭と連続した構成は新しいトイレとして評価できる。しかし、壁と屋根の隙間から雨が吹き込み、通路やトイレブースが雨水で汚れることが懸念される。この案は雨の問題をクリアーにし、緑との融合を実現できればよい案になるだろう。

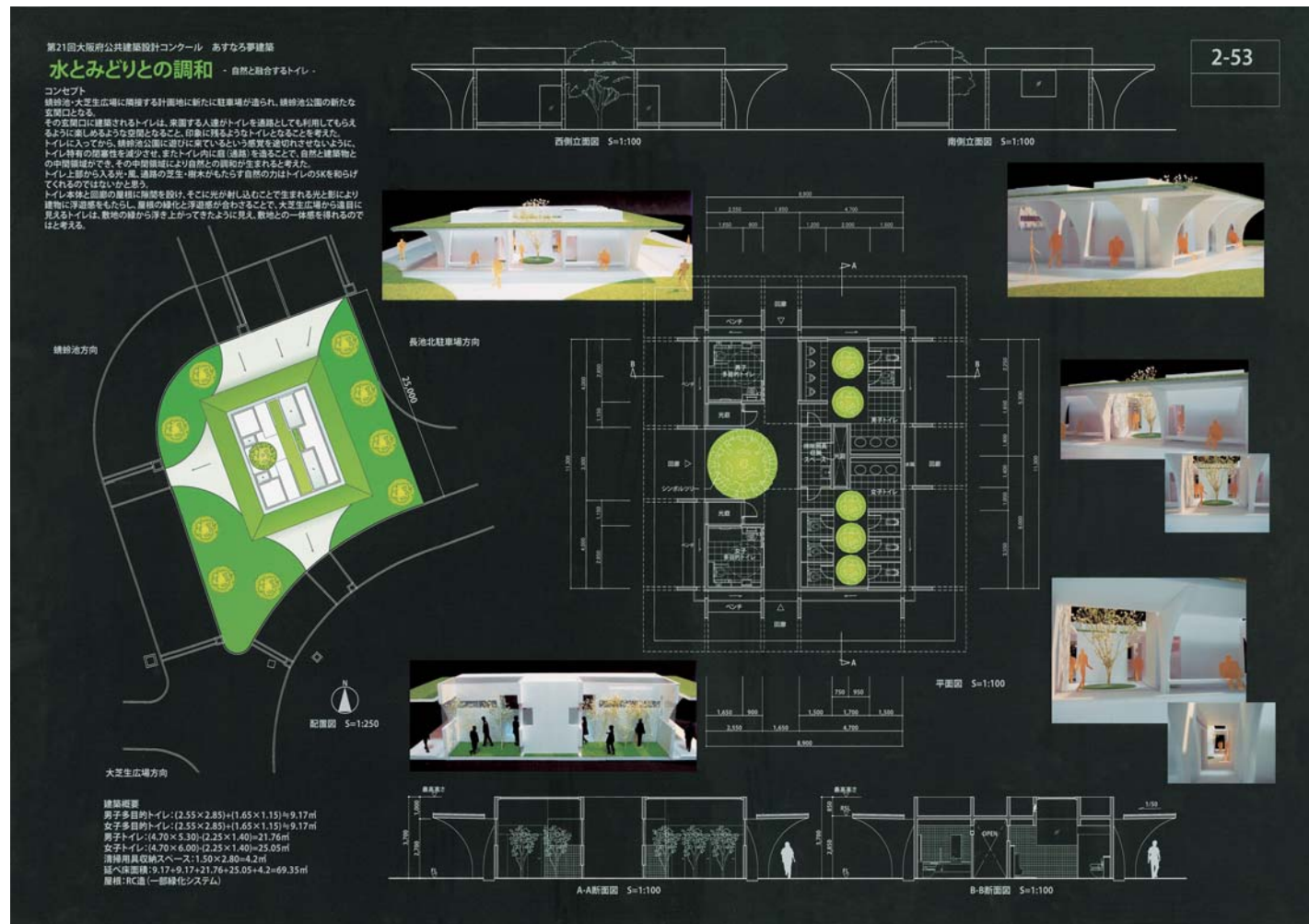
神山貴成作品（佳作）
敷地形状に合わせて建物を配置し、ステップの向きで蜻蛉池への視線を誘導するなど平面計画上は高く評価でき、また施工や維持管理のしやすさについても充分評価できる。ただ、多目的ブース利用者が大きく建物を迂回しなければならないことや女子便所入口の目隠し位置、屋根勾配等に課題がある。

西岡広登作品（佳作）
陸屋根に軽快さを加味した開放感のあるシンプルで落ち着いたデザインである。平面プランでは、ブースや手洗いを集約して利用動線に無理がなく、清掃や修繕など維持管理が容易である。植栽や花壇、ベンチの配置、駐車場から大芝生広場への軸線を意識した建物配置やアプローチ等は再考が望まれる。

伊地知真人作品（佳作）
敷地のレベル差を把握し、公園を訪れる者をやさしく包み込む印象に残るデザインで、使いやすい平面プランである。一方、柔らかな曲線を描く白い屋根をコルゲート鋼板としているが、材料の選択は妥当か。風雨への対応等、課題も見受けられる。

佐藤雄亮・石井晶作品（奨励賞）
トイレブースや手洗等の機能を分散させた今までに無い案である。しかし、利用者がトイレを使用する際に混乱が生じると思われるため、色やサイン等でのルールをつくる必要がある。また、屋根が重なり合い、断面のように光が入らず暗くならないか懸念される。

岡崎哲也作品（奨励賞）
敷地全体を覆うC型の形態の屈折する3点にトイレが配された先鋭的なデザインである。C型の空間とその外部空間がランドスケープデザインとして成功しているが、コストやメンテナンス等の課題も指摘された。



田中 一宣 大阪府立守口高等職業技術専門学校 1年

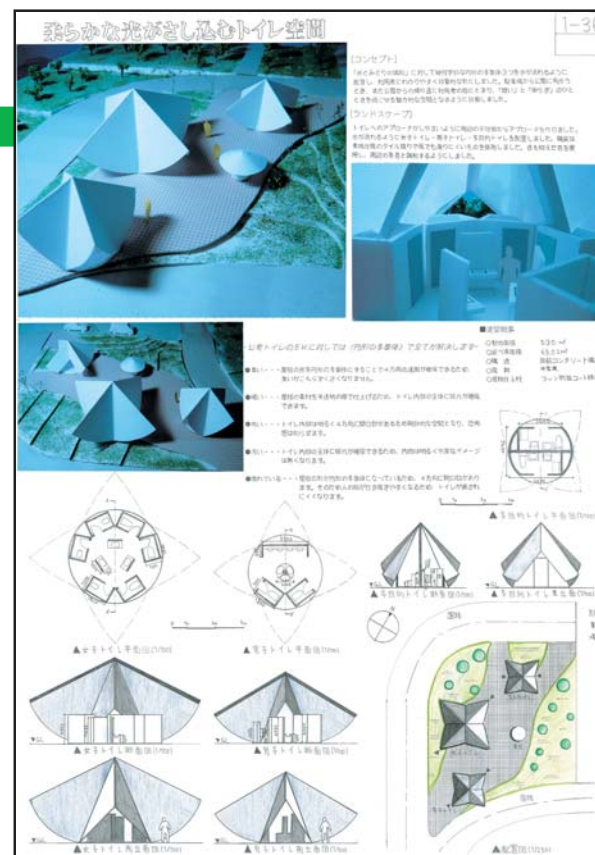
水とみどりの調和 - 自然と融合するトイレ -

蜻蛉池・大芝生広場に隣接する計画地に新たに駐車場が造られ、蜻蛉池公園の新たな玄関口となる。その玄関口に建築されるトイレは、来園する人達がトイレを通路としても利用してもらえるように楽しめるような空間となること、印象に残るようなトイレとなることを考えた。

トイレに入ってから、蜻蛉池公園に遊びに来ているという感覚を途切れさせないように、トイレ特有の閉塞性を減少させ、またトイレ内に庭（通路）を造ることで、自然と建築物との中間領域ができ、その中間領域により自然との調和が生まれると考えた。

トイレの上部から入る光・風、通路の芝生・樹木がもたらす自然の力はトイレの5Kを和らげてくれるのではないかと。思う。

トイレ本体と回廊の屋根に隙間を設け、そこに光が射し込むことで生まれる光と影により建物に浮遊感をもたらし、屋根の緑化と浮遊感が合わさることで、大芝生広場から遠目に見えるトイレは、敷地の緑から浮き上がってきたように見え、敷地との一体感を得られるのではと考える。

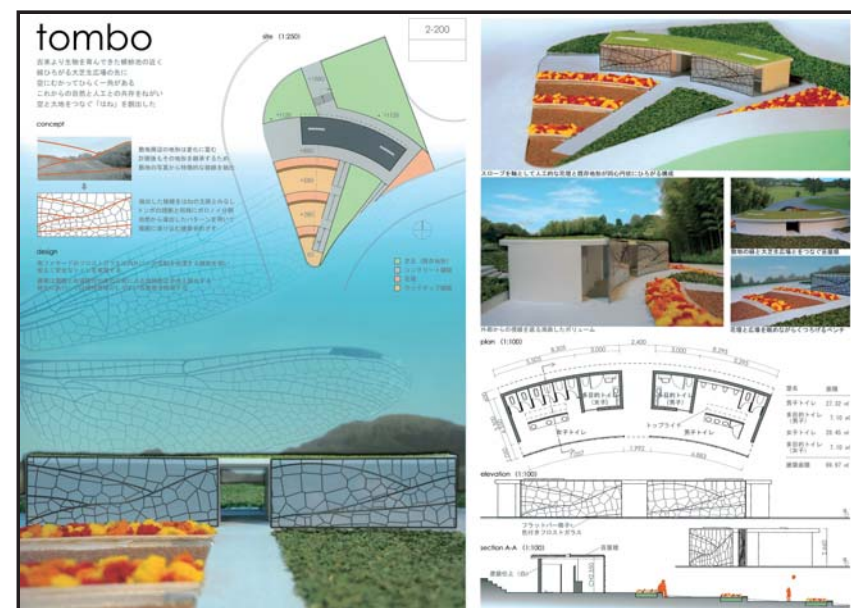


徳原 俊樹

大阪建設専門学校 1年

tombo

古来より生物を育ててきた蜻蛉池の近く
緑ひろがる大芝生広場の先に
空にむかってひろく一角がある
これから自然と人工との共存をねがい
空と大地をつなぐ「はね」を創出した

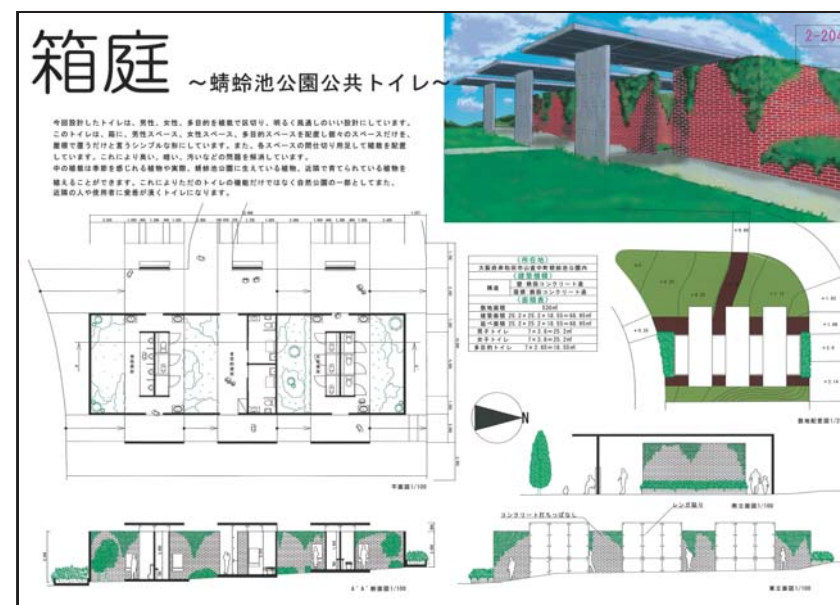


山田 善紀

大阪建設専門学校 2年

箱庭 ~蜻蛉池公園公共トイレ~

今回設計したトイレは、男性、女性、多目的を植栽で区切り、明るく風通しのいい設計にしています。このトイレは、箱に、男性スペース、女性スペース、多目的スペースを配置し個々のスペースだけを、屋根で覆うだけと言うシンプルな形にしています。また、各スペースの間仕切り用として植栽を配置しています。これにより臭い、暗い、汚いなどの問題を解消しています。中の植栽は季節を感じれる植物や実際、蜻蛉池公園に生えている植物、近隣で育てられている植物を植えることができます。これによりただのトイレの機能だけでなく自然公園の一部としてまた、近隣の人や使用者に愛着が湧くトイレになります。



神山 貴成

大阪府立今宮工科高等学校 3年

自然と水を一望する。

このトイレは「水」と「自然」の風景を楽しめる。「水」とは、木々の間から見える蜻蛉池、雨の日には、天窓から流れる雨水。「自然」とは、周りにある森や木。広大に広がる芝生公園。これらの風景をもっと楽しめるために、ウッドデッキや、ベンチを設け、くつろぎながら、広大な自然を楽しめるように計画をしました。

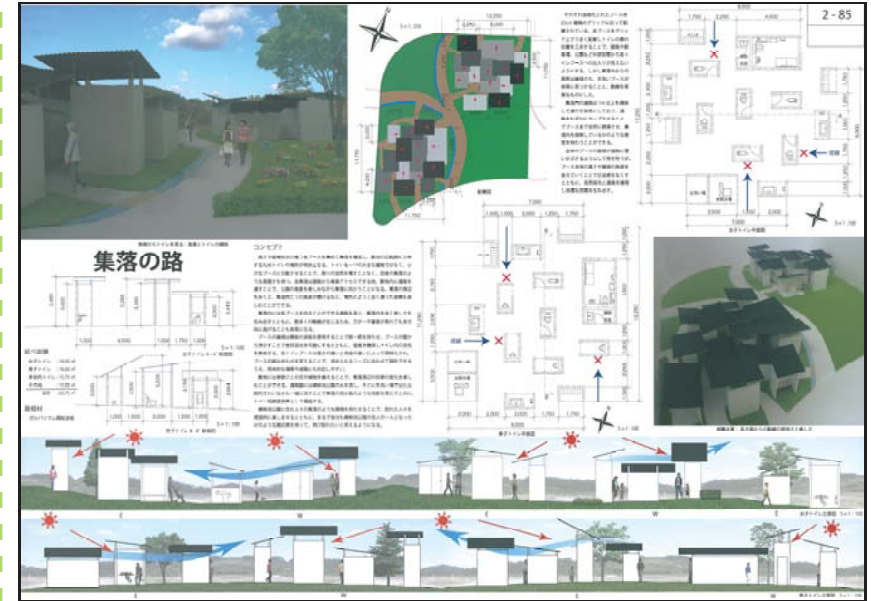


佐藤 雄亮・石井 晶

大阪府立大学工業高等専門学校 5年

集落の路

高さや屋根形状の違う各ブースを集めて集落を構成し、敷地の広範囲に分布するためトイレの場所が明快となる。トイレを一つの大きな建物ではなく、小さなブースに分散させることで、周りの自然を壊すことなく、田舎の集落のような長閑さを持つ。各集落は園路から直接アクセスできる他、敷地内に通路を通すことで、公園の風景を楽しみながら集落に向かうことになる。集落の周辺を歩くと、集落向こうの風景が覗けるなど、場所によって全く違った景観を楽しむことができる。(一部抜粋)



西岡 広登

大阪市立都島工業高等学校 2年

花ミズキにゆれながら

このトイレは、水とみどりの調和ということで、水とみどりを表現したデザインにしました。水はこの建物の曲線やベンチの波、トイレまでのアプローチに青いLEDを地面に埋め込んで表わし、みどりでは、壁をツルの模様にしたり、一番のシンボルとなるハナミズキをトイレの真正面に置きました。建物の形的にも、簡単に掃除しやすく親しみやすい形状にしました。そして、屋根を建物から離すことで、光を取り入れたり臭いの逃げ道を確保し、皆が綺麗で清潔に使えるトイレにしました。



岡崎 哲也

大阪建設専門学校 2年

C-toilet

蜻蛉池公園の中に位置する敷地は東西南北すべてに開かれている場所である。この敷地においてはトイレとしての場所だけではない空間として読み解いた。留まる場所、取り込む場所、そして開かれる場所である。本来公園に存在するトイレを分解し、この敷地において再構築することにより敷地と周辺環境とを絡み合わせるヴォリュームを計画した。トイレの上部には敷地の高低差に影響されることなく周辺地域が見渡せる、開かれた場所である。その下にトイレの機能が分散されて配置してある。そして、敷地の周辺外部の影響を受け、くり抜かれたヴォイドにはアトリウムが出現し、自然環境を取り込む場所を生み出す。その2つのエレメントが絡み合いながら留まる場所を形成している。

伊地知 真人

大阪建設専門学校 1年

大地に映る大空

蜻蛉池公園の大空を見上げながらこのトイレを使ってほしいと思い作りしました。大空がトイレに映り込むことにより、周りの景観を崩すことなく、トイレを使っている人達や、使い終わった人達を優しく包み込むようなデザインになっています。屋根に大きな開口部を設けることにより、通風と採光を最大限にとることができ、臭いもこもらず快適なトイレを実現することができました。季節が移り変わるたび、いろいろな表情を見せる大空は、私達に希望や感動を与えてくれます。そんな大空のように、このトイレに立ち寄りくれた人達がそのような気持ちを感じ取ってくれたらいいなと思います。



応募作品校一覧

【第1部】

- 大阪市立工芸高等学校
- 大阪市立都島工業高等学校
- 大阪府立今宮工科高等学校
- 大阪府立西野田工科高等学校
- 大阪府立布施工科高等学校

【第2部】

- 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
- 大阪建設専門学校
- 大阪工業技術専門学校
- 大阪市立デザイン教育研究所
- 大阪府立芦原高等職業技術専門学校
- 大阪府立大学工業高等専門学校
- 大阪府立守口高等職業技術専門学校
- 修成建設専門学校
- 創造社デザイン専門学校

- 中央工学校 OSAKA
- 日本理工情報専門学校

